



126号 2007.2

川口市立図書館

図書館だより

中央図書館 川口 1-1-1	(227)7611	前川図書館 前川 1-3-18	(268)1616
新郷図書館 東本郷 1688	(283)1265	横曽根図書館 仲町 10-16	(256)1005
戸塚図書館 戸塚東 3-7-1	(297)3098	芝北文庫 [芝北公民館内]	(227)7611

URL <http://www.kawaguchi-lib.jp/>

わたしの今年の一冊2006

昨年お読みになった本の中で印象に残った一冊をあげていただく「わたしの今年の一冊」は今回で12回目となりました。たくさんのご応募をいただきましたが、紙面の関係で19点掲載させていただきます。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

『悪女について』 有吉佐和子 新潮社 913.6 ア

今までに呼んだことのない文体で、主人公である『悪女』は登場しないのに、証言だけで書きすすめられていくところがぐいぐい引き込まれていく。果たして本当に悪女であるのか分からなくなるところがおもしろい。

(40代女性)

『アジア・ハイウェイ見聞録』 大野 正雄

さきたま出版会 292.7 オ

アジア・ハイウェイのパキスタンからアフガニスタン、イラン、トルコを、学校教師の著者が数年がかりで旅をしたものを集めた本である。これらの国は、今何かと話題のイスラム国であり、ムスリムの人々の生活等がのべられている非常に興味深い本である。

(40代男性)

『生きかた上手』 日野原重明 ユーリーグ 490.4 ヒ

読みすすめていて、思わず手帳に書きとめた文章があり、時に読み返しては、勇気づけられました。多くの方に読んでほしいですね！微笑みのしわ、私もできるように頑張ります！！

『キップをなくして』 池澤夏樹 角川書店 913.6 イ

電車の中でキップをなくした子は「駅の子」として東京駅のある部屋で生活し、特別な力を与えられ駅の中で重要な仕事をするのです。読んだあと東京駅の地下通路をあるいていて小さなとびらを見つけると、もしかしてこの中に「駅の子」がいるのでは、とってしまうすてきなお話です。

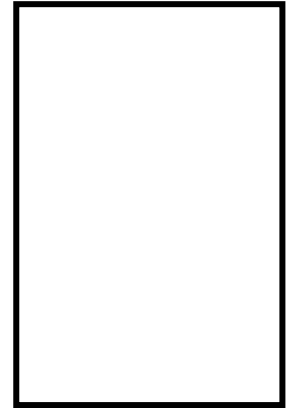
(40代女性)

『慶長疾風録(全3巻)』 伊藤 浩士

学研 913.6 イ

私は、NHKの大河ドラマをもう40年以上見ているが、本書の様な歴史小説をNHKの大河ドラマで放送して欲しいものだ。著者の方の作品は、他にも読んだ事があるが、重厚な味わい深い作品ばかりである。まずは、本書を一読してみてください。

(40代男性)

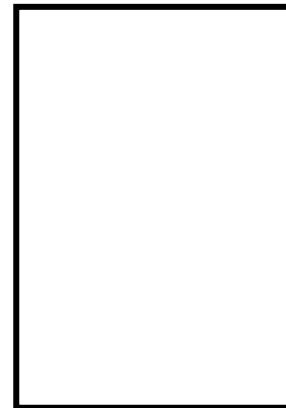


『殺人の門』 東野 圭吾

角川書店 913.6 ヒ

人は、どのようなプロセスを辿って人を殺してしまうのだろうか?そんな問いかけのひとつの答えがここにはあった。人間の精神のもろさと強靱さは表裏一体であること。そして私たちは、どんなことがあっても一線を越えてはならないのだと教えてくれているような気になる小説だ。

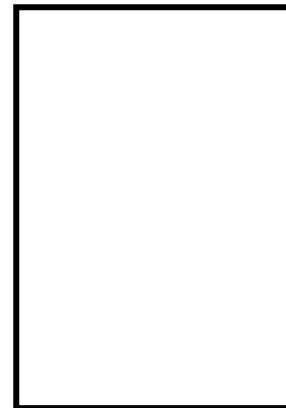
(40代女性)



『生協の白石さん』 白石 昌則 講談社 049 シ

生協に設置してある、ひとことカードに白石さんが回答する。要望とかけはなれたくだらない質問もあるのですが、白石さんのユーモアあふれる粋な回答に思わず笑ってしまいました。どんな質問にも、素敵な言葉遣いで答えていて、その誠実さが伝わる心温まる一冊でした。こんな方が身近にいるといいですね。

(20代女性)

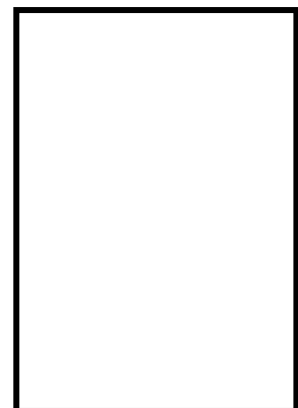


『闘う胃袋』 ジェyson・ファゴニー

ランダムハウス講談社 936 フ

副題に「食らえ!大食いアスリート列伝」とあるように、本書はワールドフードバトルと言える大食い大会の事と、その出場選手達の熱き闘いについて書いてあり、そしてその世界チャンピオンが、通称コービーこと、小林尊選手である。それらの事は、本書を読むと分かるが、大食いの人達もそれなりに健康に気を使っている様だ。本書を読んで、あなたも大食い大会にチャレンジしてみても如何?

(40代男性)

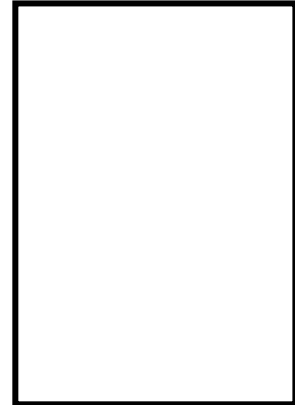


『チーム・バチスタの栄光』 海堂 尊

宝島社 913.6 カ

医療関係の物語なのに、主人公のとぼけた感じのせいか、他の強烈なキャラクターたちのせいか、ものすごく面白く読めました。今年のイチ押し!と思いました。

(30代女性)

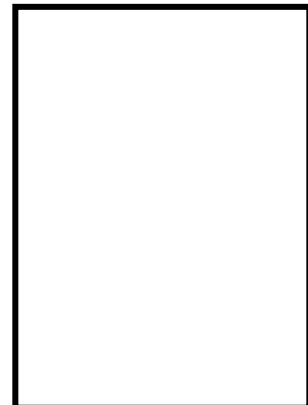


『町長選挙』 奥田 英朗

文藝春秋 913.6 オ

シリーズ3作目にして、さらにパワーアップした面白さ。トンデモ精神科医の暴走ぶりは、読めば壮快、日頃のストレスも解消してくれる。癒される?一冊。

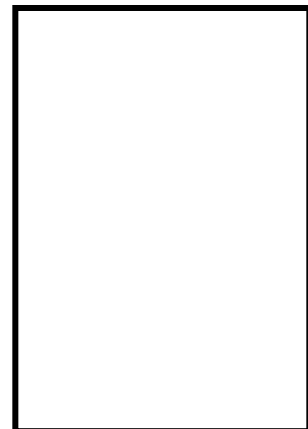
(30代女性)



『東京タワー』 リリー・フランキー

扶桑社 913.6 リ

こういうマザコンなら、許せると思った。闘病生活がリアルで、病院ってそうだよなぁと思いながら、泣きながら、一週間で読んだ本でした。

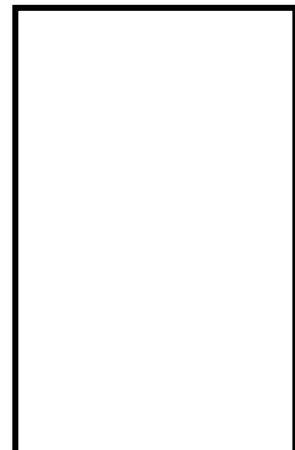


『はやぶさ～不死身の探査機と宇宙研の物語』 吉田 武

幻冬舎 538.9 ヨ

日本の小惑星探査機「はやぶさ」(宇宙研 JAXA ジャクサ)が直線距離3億 km(地球～太陽間の2倍、実際の行程は20億 km)を2年半かけて、極小の惑星「イトワカ」(長軸525m)に到達し、着地に成功(2005.11)した。目下、地球への帰還途上にある。このノーベル賞にも値する科学的偉業は、米国・科学専門雑誌サイエンス(2006.6.2号)に特集され、世界中の絶賛を浴びた。専門分野での成果で、知名度は低い、中・高生に勧めたい。

(70代男性)



『不如帰』 徳富 蘆花

学研 913.6 ト

海軍少尉川島武男に嫁ぐ浪子は、胸の病になり、姑との折り合いが悪く、「もう二度と女になんかに生まれはしない」と言って亡くなる。日清戦争の戦勝ムードにわく、東京でのことだった。明治時代の作品で、学研の明治の古典、澤野久雄氏の現代語訳で読んだ。夫と姑問題もあり、すばらしい作品である。

(40代男性)

『夜のピクニック』 恩田 陸

新潮社 913.6 オ

歩行祭に参加する生徒たちの様子が目に浮かぶようだった。読んでいる間、自分も、ともに歩いている気分だった。生徒たちのその後がとても気になる。自分も歩行祭に参加してみたくなった。

(30代女性)

『りんごは赤じゃない』 山本 美芽

新潮社 375.7 ヤ

この本から極めて、オクタンカの高いエネルギーをもらいました。「教育」というのは「教える」ことも大切ですが「育てる」、「育つ」ということに60%以上の比重をかける立派な方法を知りました。人は「やり方」、「考え方」でより高い向上が得られるのです。色々と「教わる事の多い本」でした。

(70代男性)

『累犯障害者』 山本 譲司

新潮社 326.3 ヤ

若者の山本譲司は、衆議院議員として在職中、政策秘書給与の流用事件を起こし、実刑を受け、刑務所へ下獄経験を持つ。獄中でさまざまな受刑者を見るが、免罪もかなりあることを知り、出獄後、福祉の現場に携わりながら、犯罪を犯した様々な障害者を訪ね歩き、最底辺の加害者障害者問題を赤裸々に描いた本書である。若者は、最終頁にある障害受刑者が「俺ね、これまで生きてきた中で、ここが一番暮らしやすかったと思っているんだよ。」と言ったと書いている。障害受刑者の声を聞くためにも一読を。

(40代男性)

『わたしのマトカ』 片桐はいか

幻冬舎 772.1 カ

のんびりした滞在日記といった感じで、読んでいるとフィンランドに行きたくなりました。自分には遠い国、といったイメージだったフィンランドが、色鮮やかな国に思えてきました。

(30代女性)

『博士の愛した数式』 小川 洋子

新潮社 913.6 オ

数のとらえ方。すごく新鮮で楽しかった。

(50代女性)

『対岸の彼女』 角田 光代

講談社 913.6 カ

また明日からがんばる力がわいてきた。ファイト！

(40代女性)

紙面の関係で、お寄せいただいたご感想のすべては、掲載できませんでした。書名だけでも、次に、ご紹介させていただきます。

『パオの物語』 y o s h i 『国銅』 帚木蓬生 『夜回り先生』 水谷 修 『それから』 夏目漱石
『葱(ネギ)』 芥川龍之介 『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子 『バグダット燃ゆ』 岡野弘彦 『大河の一滴』 五木寛之 『無事、これ名馬』 宇江佐真理 『動物園の鳥』 坂木 司 『イニシエーション・ラブ』 乾 くるみ 『間宮兄弟』 江國 香織 『配達あかずきん』 大崎 梢 『高瀬舟』 森 鷗外 『錦繡』 宮本 輝 『うさぎとトランペット』 中沢けい 『どうぶつえんにいこう』 福武 忍
『シートン動物記1～5』 アーネスト・T・シートン 『はせがわくんきらいや』 長谷川集平
『ぐりとぐら』 中川李枝子 『トム・ソーヤーの冒険』 マーク・トゥエイン 『自分でできる占い』 『フレディ1・2』 ディートロフライヒエ 『ドラゴンラージャ1』 イ・ヨンド 『すいぞくかんにいこう』 福武 忍 『コタンの口笛』 石森延男 『トムは真夜中の庭で』 フィリパ・ピアス 『シャーロックホームズ』 コナン・ドイル 『わたしのいもうと』 松谷みよ子 『飛ぶ教室』 ケマトナー

お読みになりたい本が見あたらない時は、どうぞカウンターへお申し出ください

横曽根図書館

横曽根図書館『文芸講演会』

日時 平成19年3月9日(金) 14:00~16:00
場所 横曽根図書館 3階 会議室
講師 大河内 昭爾先生 演題 「人との出会い、本との出会い」
定員 40名 申し込み 2月16日(金)10:00~
問い合わせ 横曽根図書館(256)1005

中央図書館

中央図書館開館記念事業 語りライブ

『宮沢賢治の詩・童話 11弦ギターの弾き語り』

語り部 一鷹 明伶(いっしゅう はるあきら)氏
期日 3月10日(土) 15:00~
場所 メディア7階 プレゼンテーションスタジオ 人数 100名
申し込み 往復はがき(詳しくは、中央図書館にお問い合わせ下さい。)
往信欄に、住所・氏名・電話番号を記入し、返信欄に、
申込者の住所・氏名を記入。申し込み多数の時は、抽選。
申し込み締め切り 2月28日(水)まで
申し込み先 〒332-0015 川口市川口1-1-1 ｷｯｺﾞｰﾗ本館 中央図書館

問い合わせは、各図書館にお問い合わせください。

ちよこっとコラム



子どもへの読み聞かせを応援しています。

現在、図書館では、『読み聞かせボランティア講座』を開催中です。今年度は、現在市内の小学校で活動をしている方で、まだ、同等の講座を受けたことのない方が対象です。市内小学校を通して、現在活動をしている読み聞かせグループへ、受講者の募集をしました。(今年度の募集は、終了しました。)講座のテキスト『読み聞かせに向く本のリスト』に掲載されて

いる絵本や読み物などは、すべて、中央図書館5階の《子ども読書支援コーナー》に、用意してあります。読み聞かせの活動をしているみなさん、どうぞ支援コーナーを活用してください。また、子どもの本や子どもの読書について、関心のあるお父さんお母さんもぜひ、支援コーナーをご覧ください。

